

麦の郷

通信

“麦の郷とは” 住民のニーズから
生み出され、住民の手によって育てられる

September 2023

こじか園/第二こじか園/はぐるま共同作業所/はぐるま共同作業所 和の社/はぐるま共同作業所 ラ・テール/麦の郷印刷/ソーシャルファームピネル/おぎピース/ソーシャルファームもぎたて/meglück(メグリユック)/六星舎/叶夢向/麦の郷 和歌山生活支援センター/麦の郷 紀の川生活支援センター/障害者就業・生活支援センター つれもて/くろしお作業所/麦の郷訪問看護ステーション/麦の郷居住福祉事業所/ハートフルハウス 創/事務所/ゆめ・やりたいこと実現センター/ちいき暮らしサポートセンターわかやま/Rework支援センターANEW/麦の郷障害者地域リハビリテーション研究所

揮毫：伊藤静美 発行/麦の郷情報管理委員会 TEL(073)474-2466 FAX(073)474-4637
〒640-8301 和歌山市岩橋643 <http://www.muginosato.jp>



第二こじか園
7月19日(水)海あそび



紀の川生活支援センター 8月19日(日)
カナダのカーリーさんと国際交流



ハートフルハウス創
7月29日(土) 粉河祭り



障害者・市民の夏まつり
9月2日(土)

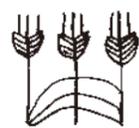


私たちのめざすもの ~麦の郷4つの理念~

- 1).麦の郷は、日々学び、育み、発信し続ける人材を育成し、地域福祉の発展を目指します。
- 2).私たちは、ものづくりを通じて障害のある人と地域の共存を実現し、互いに豊かになる実践を目指します。
- 3).私たちは、社会的不利の状態におかれている人々の課題を解決するために、広範な人々をつながりをもとめ、ともに社会変革をめざします。
- 4).麦の郷は、全ての人々が平和で安心して暮らせる社会づくりのために人の輪を紡いでいきます。

第5次『笑顔と元気』麦の郷プラン 2023～2027の策定を終えて

『笑顔と元気』 麦の郷プラン 2023～2027



社会福祉法人 一麦会

令和3年10月1日、策定メンバー10人は麦の郷地域交流室において第1回策定会議を開催しました。コロナ禍でオンライン会議が多い中、この会議は常に対面形式で開催され2か月に1回、計10回、途中2グループに分かれそれぞれの事業所で集まり、それ以外は、麦の郷地域交流スペースみさ

わで開催しました。策定メンバーは中堅、若手の職員で構成され、職種もさまざまな中でお互いの仕事内容を知り合い、日頃の悩みや愚痴なども含め話し合い、笑いあい、同じ時間を過ごす大切さを実感することができました。そして和歌山での障害者運動や歴史、プランづくりの意義、平和や日本国憲法の大切さを学び

ながら、麦の郷の実践や課題を議論しました。昨年冬ごろからは、プラン委員が各事業所、各部会、各委員会へ参加し、麦の郷がめざすものを踏まえながら

5年後さらに未来を見据えたプラン作りに携わることができました。障害があってもなくてもその人らしく安心して地域で生活することを念頭に、なかまのニーズに寄り添いながら支援し続けること、また風通しのよい職場作りをしながら、事業所の垣根をこえ連携し、職員、なかまと共に成長していく具体的なプランが完成しました。この会議に参加できたことは私自身にとって大きな経験となり支援の礎となると感じています。そして笑顔と元気があふれる麦の郷の一員として日頃の実践に活かしていこうと思います。

(麦の郷プラン策定委員会 南部 恵里)



2023年度 麦の郷新人職員研修

毎年、麦の郷教育研修委員会主催で実施している、麦の郷新人職員研修が7月26日(水)、8月9日(水)に実施されました。今年度は、田中副理事長と浦口事務局長に講師をして頂きました。研修内容は、歴史を通しての支援や想いについて。「障害者福祉は黙っていても進まない」「今あるのは、天から降ってきたものでも、誰かが作ってくれたものでもない」「支援とは、当事者主体」「保護の客体から権利の主体へ」など、これまで麦の郷が行ってきた実践や運動についての熱い想いを語ってくれました。時間が無くて、受講者の感想や質問をしてもらう時間は取れなかったのですが、たくさんのメッセージは受け取ってもらえたと思います。また、今回の研修を一つのきっかけとして、



視野を広げて今後の実践に取り組んでいってもらえればと思います。同僚として共に新しい歴史を創っていきましょう！(麦の郷教育研修委員会 山本 哲士)

麦の郷各事業所一斉地震避難訓練

去る6月14日に麦の郷の全事業所において、南海トラフ大地震発生を仮定した災害避難訓練を実施しました。10:30に紀伊半島沖を震源として、震度7強の津波を伴う大型地震が発生したという想定内容です。そうした状況下において各事業所がどのような困難に陥り、対応をおこなうかを模擬的に実践しました。各事業所では怪我人が出て救急車を要請したり、火事が発生し消防を要請する事例、また和歌山市中心部に事業所があるところでは、津波発生への対応として実際に避難所へ向かう訓練や、避難所への向かうことが困難と判断し建物1階から2階の垂直避難も試みられました。

この災害避難訓



練を実施した後に各事業所へアンケートもおこないました。結果から、実際に大型災害がおこったとき仲間の安全に

配慮して、冷静に対応できるのかと不安の声も多く挙がったこともあり、今後も定期的な訓練を数多くおこなっていくことが大事だと感じました。その積み重ねが、実際に災害が発生した場合においても対応が可能となる事業所となっていくと思います。

(麦の郷安全対策委員会 武田 賢二)



きょうされん初参加!!



きょうされん第46回全国大会 in 埼玉へ参加させていただきました。

「さけぼう 命の尊さ いだこう 人権の重み つなごう 平和への願い～わたしらしく あなたらしく 生きられる社会を～」というスローガンのもと、計2日間行われ、全国各地から約2300人が参加しました。

真夏の埼玉はとても暑かったですが、それに勝るぐ

らい、熱い皆さんの情熱に圧倒される2日間でした。埼玉県大宮市の大宮駅に到着すると、まずはその歓迎のし方に驚きました。

スタッフやボランティアが、ピンク色や黄色のTシャツを着て、笑顔で出迎えてくれ、駅から会場までの道のりをスムーズに歩けるように案内をしていました。

大宮ソニックシティは大変大きく立派な建物で、一歩足を踏み入るとすぐ迷子になってしまいそうな迫力がありました。

私は、障害者権利条約を地域のすみずみに活かす、相談・支援の分科会でお話をさせていただいたのですが、事前に用意していた7500文字のレポートを読み、様々な角度から意見をもらい、大いに学び合い、大いに交流をしかった、とても心に残る2日間でした。

(麦の郷紀の川生活支援センター 長谷川 志穂)



4年ぶりの粉河まつり



7月29日4年ぶりの粉河祭りが開催されました。久しぶりのお祭りを見て回って楽しもう!と今年は祭りに参加しやすいようにドリンク販売のみを企画しました。今回、町内会から祭り後のまかない作りを依頼され、当日仲間みんなで手

分けして炊き出しにもトライ!午前は15升のお米を洗って炊き大鍋のカレーを作り、午後からはクラッシュゼリー入りドリンクの準備をしてスタンバイ。夜の祭りでは神輿、だんじり、沢山の人で賑う中ドリンクは完売!とんまか通りを歩いて、写真を撮ると、祭りを満喫しました。(ハートフルハウス創 村田 明衣香)

4年ぶりに『こじか夏まつり』を在園児と卒園児(1年生から4年生まで)を対象に8月5日(土)に行いました。こじか園を無認可から支えて下さっている『関西電力労働組合和歌山支部』の方々や、麦の郷からも子どもたちが楽しめるお店を出して下さいました。こじか園の職員もいくつかのお店を出し、こじか親の会からも、お店を出したいと申し出があり、保護者手作りのものをバザーという形で販売しました。抽選会や花火大会をしたり、子どもたち、そしてその家族の方々、祭りに関わっていただいた方々が、久しぶりに夏のひと時をゆったり楽しむ機会となり、たくさんの笑顔があふれる夏まつりになりました。(こじか園 浦上 武史)

こじか夏まつり



4年ぶりに『こじか夏まつり』を在園児と卒園児(1年生から4年生まで)を対象に8月5日(土)に行いました。こじか園を無認可から支えて下さっている『関西電力労働組合和歌山支部』の方々や、麦の郷からも子どもたちが楽しめるお店を出して下さいました。こじか園の職員もいくつかのお店を出し、こじか親の会からも、お店を出したいと申し出があり、保護者手作りのものをバザーという形で販売しました。抽選会や花火大会をしたり、子どもたち、そしてその家族の方々、祭りに関わっていただいた方々が、久しぶりに夏のひと時をゆったり楽しむ機会となり、たくさんの笑顔があふれる夏まつりになりました。(こじか園 浦上 武史)

『障害者・市民の夏まつり』が4年ぶりに開催!

2019年以来中止が続いていた『障害者・市民の夏まつり』が9月2日(土)に4年ぶりに開催されました。



今年の春から何とか開催したい!との思いで実行委員会で案を練り上げ、当日を迎えました。TOMPEIさんのライブや喜笑花さんのよさこい、恒例のラムネー気飲みではなんと初の同点決勝?!もあり、とても盛り上がりました!
今回から会場が砂の丸広場になり、色々と変更点があった中で皆様には大変ご迷惑をおかけしました。来年の夏まつりも是非お楽しみに!
(はぐるま共同作業所 和の杜 大末 翔平)



楽しかったおとまり保育



第二こじか園では、7月28日に5歳児の4年ぶりとなるおとまり保育を実施しました。日中はバスに乗っ

て“四季の郷公園”へ行き、沢や噴水で水遊びを楽しみました。

夕食は具材を切る工程から煮込むまで、みんなで作ったカレーです。自分たちで作ったカレーはとてもおいしかったです。おかわりもよくしていました。

夕方からはさんぽに花火、夏まつりなど盛りだくさん。最後にナイトプールでまったりと汗を流し過ごした後、眠りにつきました。心躍るおとまり保育を友だちと夢中で楽しんでいました。

(第二こじか園 廣瀬 智士)

むぎピース展について



先日吹上のは〜とぎやらりーにて7月6日(木)〜7月31日(月)まで第三回むぎピース展〜らしのなかのまなざし&表現〜いつもの景色、つながりのある人、身のまわりのものたち自分しか見えていないものそんな日常のまなざしをテーマにした作品展を開催しました。



作品は絵画と陶芸、雑貨や今年はむぎピースのメンバーや支援センターのメンバーと一緒に手形で表現した花火の作品も展示し、多数の方に来場して頂きました。(むぎピース 上南 里奈)

和歌山県福祉バスで海遊館へ!!



6月30日(金)総勢22名(麦の郷事務所から2名、ボランティアさん2名含む)でしとしと雨の降る

中でしたが県の福祉バスで海遊館に行ってきました。まず到着して驚いたのは外国人の多さでした。観光客の7割以上は外国人ではないかと思うくらいで、聞き慣れない言葉がたくさん飛び交っていました。コロナの制限が緩和されたんだなあ実感する一場面でした。

そんな中で外国人と気さくに挨拶を交わす人や、大水槽をじっくりクルクル回って観察する人、スマホでパシャパシャ写真を撮り続けている人、集合時間ギリギリまでお土産を選ぶ人達、いっしょにソフトクリームを食べる人、自分なりに楽しんだ一日でした。

帰りのバスの中で聞かせてもらった感想です。

- ・ジンベエザメと友達入りのショットが上手に撮れた
- ・友達と写真いっぱい撮れてよかった
- ・お土産もいっぱい買って嬉しかった
- ・いろんな魚みれて良かった
- ・初めてのスマホで魚の写真撮れました
- ・クラゲが気になっていたのですが、実際に見れてよかったです
- ・何年ぶりか分からんぶりで楽しかった
- ・初めて来てよかった
- ・ハンマーヘッドシャークが印象的でした
- ・イルカ、アザラシ、ジンベイ見れてよかった
- ・日頃は焼きか刺身か煮しか見ないけど、泳いでる魚の姿は可愛かった
- ・スタンプカード全部押したのに失くしてしまって残念
- ・2024年9月にグレートバリアリーフの水槽工事が終わるので、その時にまた行きたい

またみんなと出かけられたら最高ですね。

(麦の郷和歌山生活支援センター 木下 裕子)

第10回はまゆうソフトボール大会
3年越しの優勝!!はぐるま共同作業所



2023年5月18日、はぐるま共同作業所 給食事業部・製パン事業部のみなで第10回はまゆうソフトボール大会に参加しました。毎年参加してくれている給食事業部の方が毎年負け続け、それでも毎年優勝をめざしてくれていたのですが、今年とうとう優勝を手にすることができました！給食事業部のお二人の感想です。

今泉 将吾さん

ソフトボール大会は毎年優勝したかったけれど、第10回の日には優勝しました！3年目は勝ちました！次のソフトボール大会はまた優勝したいと思います。

千川 公彦さん

ソフトボール大会の日には晴れて本当によかったと思いました。みんなハッスルプレーをされていてよかったと思います。次回もソフトボール大会があれば参加したいと思いました。自分のチームは4チームの中で3位でした。充分がんばったと思います。筋肉痛にならなくてよかったです。他の作業所の人とも少し話すことができよかったです。

(はぐるま共同作業所 北山 郁子)

クロスワードパズル作りに挑戦！

きょうされん なかまニュースのクロスワードパズルの問題作成を7月から担当しています。他の事業所さんと交代で作成するので、麦の郷印刷は7・8・9・11・12月、2024年1・3・4・5月号を担当します。クロスワードパズルを解いたことはあっても、作るのは初めて。メンバーに提案してみたところ興味を持ってきて、手探りで作成を始めました。仕上がったものは、まずメンバーに解いてもらいます。とてもクロスワードパズルが好きなメンバーがあり、間違った作り方をしていると指摘してくれます。

未経験で始めたクロスワードパズル作り、みんなで楽しみながら取り組んでいきたいです。

みなさんも、ぜひ解いてみてくださいね。

(麦の郷印刷 長谷 理世)

ふうの丘ヤギのフォトコンテスト第二弾！



ふうの丘ヤギのフォトコンテスト第二弾！を開催することになりました！黒い毛並みの『風丸』、白い毛並みの『和歌』、活発な2頭は紀ノ川農業協同組合の敷地内にて飼育中。沢山の方々に風丸と和歌の愛らしい姿を見て頂きたい！そしてその姿を写真におさめて頂きたい！写真におさめて

頂いたら、ふうの丘ヤギのフォトコンテスト第二弾！にご応募下さい。

応募方法は、Instagramをフォロー、#かぜわかフォトコンテスト #ふうの丘やぎプロジェクトで、どしどしご応募下さい。皆様が出会った愛らしいかぜわかにお会いできる事を楽しみにお待ちしております。(ソーシャルファームもぎたて 西浦 尚子)



meGlück

ゲームントプリンター 本格始動！



4月に導入されたTシャツプリンターの初めてのお客様は、ロボットとクラシックカーのデザインに一目惚れし、自身が所属するクラブTシャツにと、100枚のご注文。製作の進捗状況を報告する度、原画を描いた貞包さん

は、「ありがとうございます！（印刷）よろしくお願います！」と励ましてくれました。

現在、メンバーオリジナルデザインや持込デザインのTシャツの注文も承っています。まだまだ暑い夏、ご注文お待ちしております。(meGlück 川邑 哲史)

創カフェついに全国デビュー
「NHK ふるカフェ系 ハルさんの休日」に出演



放映予定日
10月12日(木) Eテレ 22:30~
15日(日) Eテレ 18:30~
19日(木) 総合 11:05~

撮影は2日間、ドラマ仕立ての撮影で「はいカット!!!」とよくテレビなどで見る撮影風景が目の前で行われました。カフェの紹介や山崎邸の紹介、麦の事務所の皆様やメンバー・関係者のエキストラさんにも若干の演技指導？が入りながら順調に進みました。創メンバー(棚橋さん、宮坂さん)へのインタビューもあり盛りだくさんの内容となりました。放映が楽しみです~
(ハートフルハウス創 野中 康寛)

ボランティア講座実施中！

紀の川生活支援センターでは「2023年度 紀の川市地域活動支援センターボランティア講座」と題し、全3回の連続講座を実施中です。第1回は「生きづらさや障害のある人のことを理解する」、第2回は「障害福祉制度の変遷と麦の郷の歴史」、第3回は「『私たち抜きに、私たちのことを決めないで』障害当事者の生活や想いを知る」というテーマで学びます。受講者は、主にボランティアに興味のある地域の方や紀の川市の民生児童委員の方です。



8月2日(水)に行われた第1回目講座では、保健所職員を講師にお招きし、あいサポーター研修をしていただきました。約10名が参加され、あいサポート運動の趣旨や、さまざまな障害の特性について学びました。参加者からは、「初めて知ることも多く勉強になった」「もっと学びたいと思った」等の感想がありました。

この講座を通して地域の方とのつながりを深め、誰もが住みよい地域を一緒につくっていけたら、と思っています。

(麦の郷紀の川生活支援センター 行年 詩織)

むぎ・わくわくレポート 20



はぐるま共同作業所に出勤すると、仲間や職員の「おはようございます！」と元気な挨拶から始まります。

私が出勤する時間には、製パン事業部のみんなはもう仕事を始めています。顔が合うと一人一人が元気な「おはようございます!」。私も元気な「おはようございます!」を返します。毎朝この元気な「おはようございます!」を聞くと、今日も一日頑張ろうとパワーをもらえます。挨拶は基本なのだ改めて思いました。

晴天が続く毎日、たまには夜空を見上げて満天の星空に願いを込めて。明日もこれからも毎日、みんなの元気な「おはようございます!」が聞けますように...

(はぐるま共同作業 中村 直美)

「カウントロン」お礼



和歌山県共同募金会様の助成金によりカウントロン(紙枚数計数機)を新しく買い替えることができ、速く正確な枚数を計測出来るようになりました。それまでは多用すると使用中に機械の熱が上がり電源が勝手に落ち冷まし冷まし作業をしていました。新しい機械で加工の現場ではより円滑に作業が進む様になりました。

(麦の郷印刷 橋本 貴博)

スポーツ大会メダル受賞



2023年5月21日、和歌山県障害者スポーツ大会にくろしお作業所から宮本高志さん、松本和晃さんが出場しました。メダル獲得おめでとうございます！

(くろしお作業所 川崎 愛香)

那賀圏域「障害週間・広がれネットワーク第23弾」を開催します！

毎年12月の障害者週間にあわせて、障害のある人があたりまえに地域で心豊かな生活ができる社会の実現を目指して、交流会や学習会などのイベントを企画しています。

今年度の目玉企画は「広がれフェスタ」です★ 広がれコンサート♪や『ACT』をテーマにした講演会、作業所の物品販売など楽しいイベントを予定しています。

日時：12月17日(日) 10:00～16:00

会場：紀の川市 貴志川生涯学習センター

その他各イベントの詳細・申し込みについては、10月以降に麦の郷 HPにてチラシを掲載させていただきます。QRコードを読み取りご確認ください。

お問い合わせ：紀の川生活支援センター(石橋・窪原)

☎0736-78-2808



お詫びと訂正

前回5月号8面の『きょうされんグッズデザインコンクール』の記事の中で、受賞者のお名前を間違っていて記載しておりました。

『和歌山生活支援センター 矢野 美憂さん』と記載しておりましたが、正しくは、『和歌山生活支援センター 矢野 美優さん』です。

訂正して、お詫び申し上げます。

むきのひと



障害者就業・生活支援センター
つれもて
氏原 嗣朗

昨年7月につれもてに入職し、今年4月からセンター長をさせていただいております。入職以前は、障害者職業センターに勤務しており、当時からつれもての皆さまとは、『最も近い関係機関』として連携させてもらっていました。

さて、つれもては一般就労を目指す仲間や、その方を支援する機関からの相談を受けるとともに、雇用を考えている(あるいは既に雇用している)企業からの相談にも対応しながら、互いのマッチングを図り、安定して働き続けていけるようにサポートするところです。

その対象は、障害福祉サービスを利用している仲間はもちろん、これまで福祉のサポートを受けたことがない方も含まれます。相談する中で、一般就労先が見つかるまでには時間がかかることや、具体的な仕事探しを進めるまでに、いくつかの段階を踏まなければならない場合もありますが、まずはお話を伺った上で一緒に方向性を考えていきたいと思っております。問口は広く、気軽に相談できる場所として、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。